

# 平成30年度 第2回臨床腫瘍セミナー

## 人工知能によるがんの 臨床シーケンス支援研究の現場から

東京大学医科学研究所におけるがんの臨床シーケンス研究システムでは、現在、造血器腫瘍の場合、同意取得、全ゲノムシーケンス、データ解析、解釈・翻訳、そして医師から患者さんに返す過程が最短で3日と8時間で実現している。スパコンと人工知能Watson for Genomicsがそのシステムを駆動し医師や研究者の能力を増強している。

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 教授

**講師 宮野 悟 先生**  
(みやの さとる)

### プロフィール

1977年九大理学部数学科卒。理学博士。九大理学部教授を経て1996年より現職。ヒトゲノム解析センター長。スパコンとAIを駆使したゲノムデータ解析でがんのゲノム医療を推進中。文科省新学術領域研究「システム癌新次元」領域代表。AMED「オミクス解析技術と人工知能技術による難治性造血器疾患の病因解明と診断向上に貢献する解析基盤の開発」研究開発代表。国際情報生命学会理事(ISCB)、日本バイオインフォマティクス学会会長などを歴任。1994年IBM科学賞、2013 ISCB Fellow、2016年上原賞。



**日時：平成30年6月12日(火)18時～19時**

**場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室**

司会：池添隆之先生（血液内科学講座）

**参加無料／事前登録不要**

補足

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
  - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
  - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL:[ganpro@fmu.ac.jp](mailto:ganpro@fmu.ac.jp)  
【次回予定】平成30年6月19日(火) 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室  
(講師)愛媛県立中央病院 小児医療センター長 石田 也寸志 (いしだ やすし)先生